

指導と評価の年間計画(書道 I) <例>

岐阜県立〇〇〇〇高等学校

科目	書道 I	学年	1年	指導クラス	〇年〇組	指導者名	〇〇〇〇
単位数	2単位	使用教科書	〇〇〇	副教材・問題集等		〇〇〇	〇〇〇

1. 科目の目標

<p>書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書的美を味わい捉えたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。</p>
--

2. 評価の観点の趣旨

知識・技能 a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c
<ul style="list-style-type: none"> ・書の表現の方法や形式、書表現の多様性について幅広く理解している。 ・書写能力を向上させるとともに、書の伝統に基づき、作品を効果的に表現するための基礎的な技能を身に付け、表している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書的美を味わい捉えたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的に書の表現及び鑑賞の幅広い活動に取り組もうとしている。

3. 指導及び評価計画

月	単元	指導項目	予定時間	主な学習活動(指導内容)と到達目標	評価の場面・方法	評価の観点		
						a	b	c
4	書的美・書の表現	書の分野 鑑賞と臨書 姿勢・執筆 用具・用材 毛筆の特性 用筆の基本	2	<ul style="list-style-type: none"> ・国語科書写と芸術科書道との関連と違いについて理解し、学習への取組の姿勢を確立する。 ・書の表現が用具・用材と深く関連していることや、性能について理解し、適切に使用することができる。 ・書的美を構成する様々な要素について考え、学習の基礎を確立する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・行動観察 		○	○
5	漢字仮名交じりの書1	漢字仮名交じりの書的美 姿勢・執筆法練習 書写から書道へ いろいろな線による表現 用具・用材による表現 紙面構成のバリエーション 鑑賞・作品制作 漢字仮名交じりに書による創作	13	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字と仮名の学習の調和をはかり、現代にふさわしい書作品をつくることができる。 ・自ら課題を見つけ、様々な表現技法を使ってセンスあふれる作品に挑戦することができる。 ・運筆のリズムや筆圧の変化を考え、自分の意図にあった表現ができる。 ・筆、墨色、墨量、紙の違いによる変化を感じ取ることができる。 ・縦書き、横書き等による字形・文字の大きさや全体構成を工夫することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・イメージの発表 ・ワークシート ・行動観察 ・作品の提出 ・振り返りシート 	○	○	○
6	漢字の書1	《楷書の学習》 楷書の美 鑑賞 作品制作	10	<ul style="list-style-type: none"> ・古典の作品を通して書写の心情、歴史的背景に興味をもつことができる。 ・各々の古典の書風の違いを分析することができる。 ・用筆法の違いにより、様々な線を表現することができる。 ・楷書の基本的な用筆法を習得することができる。 ・楷書の基本点画を習得することができる。 ・姿勢・執筆法を習得することができる。 ・古典の臨書と鑑賞を通して、多様な表現方法を理解し、学習への興味と意欲をもつことができる。 ・古典の良さや美しさを味わうことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・イメージの発表 ・ワークシート ・行動観察 ・作品の提出 ・振り返りシート 	○	○	○
7	漢字の書2	《行書の学習》 行書の美 行書の特徴 鑑賞 作品制作 生活の中の書	10	<ul style="list-style-type: none"> ・楷書と行書の違いについて考え、理解することができる。 ・用筆法の違いにより、様々な線を表現することができる。 ・古典には筆者の心の動きや個性が表れていることを理解することができる。 ・表現の技法を習得することができる。 ・各古典を比較鑑賞し、古典のよさ、美しさを感じ取ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・イメージの発表 ・ワークシート ・行動観察 ・作品の提出 ・振り返りシート 	○	○	○
9	仮名の書	仮名の成立 仮名の美 仮名の基本的な筆使い 仮名の単体・連綿、変体仮名 作品の鑑賞	15	<ul style="list-style-type: none"> ・磨墨の良さを理解することができる。 ・仮名独特の美しさ、用筆法、運筆のリズムを取得することができる。 ・仮名の成立過程及び字源について理解を深めることができる。 ・連綿、散らし書きの学習を通して、仮名の美を追究する 	<ul style="list-style-type: none"> ・イメージの発表 ・ワークシート ・行動観察 ・作品の提出 ・振り返りシート 	○	○	○

11		生活の中の書 作品制作 書作品と料紙		<ul style="list-style-type: none"> ことができる。 ・散らし書きに思い切った表現の工夫をすることができる。 ・変体仮名を自由に使いこなすことができる。 				
12	篆刻	自分の印を刻ってみよう 《篆書》 《篆刻》	6	<ul style="list-style-type: none"> ・自作の印（姓名印）を持つ喜びを味わい、篆刻に対する興味をもつことができる。 ・文字造形の面白さを味わうことができる。 ・手順、技法を習得することができる。 ・用具、用材の扱い方を身に付けることができる。 ・個性あふれるオリジナルな表現を工夫することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・行動観察 ・作品の提出 ・振り返りシート 	○	○	○
1						○	○	○
2	漢字仮名交 じりの書2	生活の中の書 実用書の学習	14	<ul style="list-style-type: none"> ・創作の手順と要領をつかむことができる。 ・たくましく、躍動感あふれる運筆ができる。 ・創作することの楽しさ、充実感を味わうことができる。 ・個性的でオリジナルな表現を工夫することができる。 ・書の日常性に目を向け、生活の中に積極的に取り入れることができる。 ・一年間の学習の成果を書く。（篆刻作品を押印） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・行動観察 ・作品の提出 ・振り返りシート 	○	○	○
3						○	○	○
			70					